

2024年度 就職に係る学修成果に関するアンケート結果

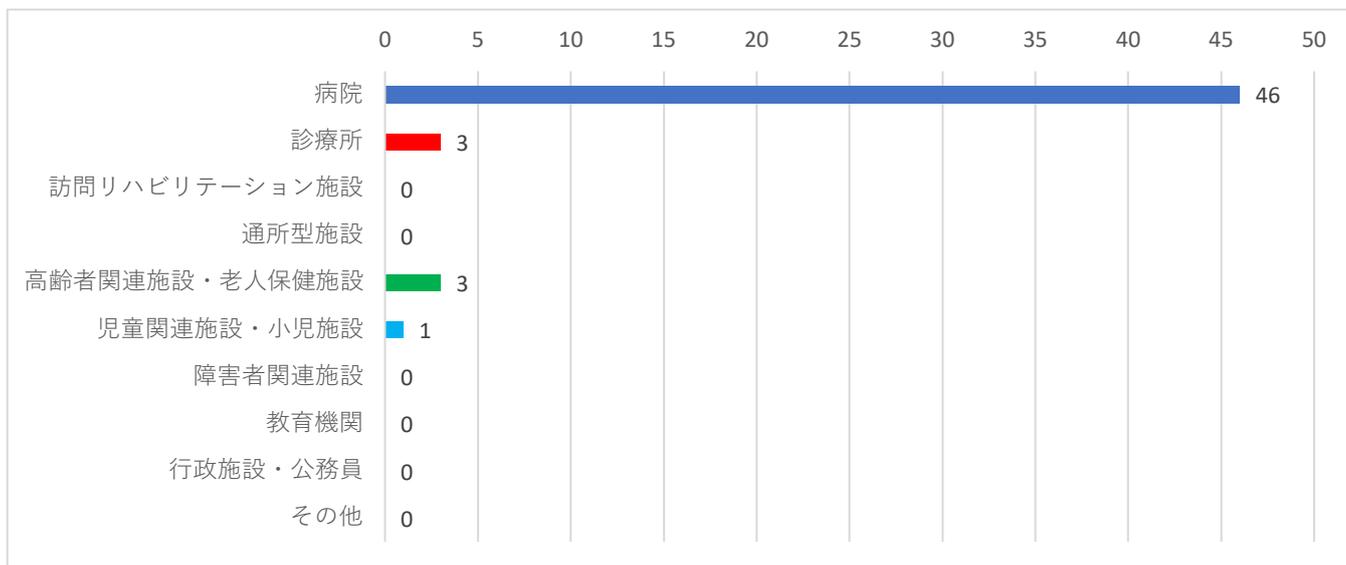
[目的] 本学の就職先となる施設に対して卒業生の学修成果に関するアンケート調査を行い教育活動の改善に役立てる

[対象] 本学臨床教授・准教授、就職説明会参加施設

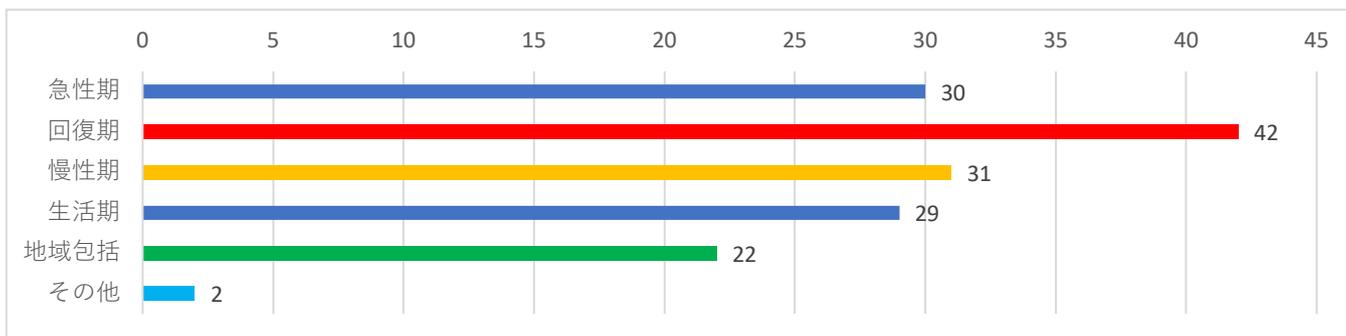
[実施時期] 2024年8～9月

[回答数] 53件

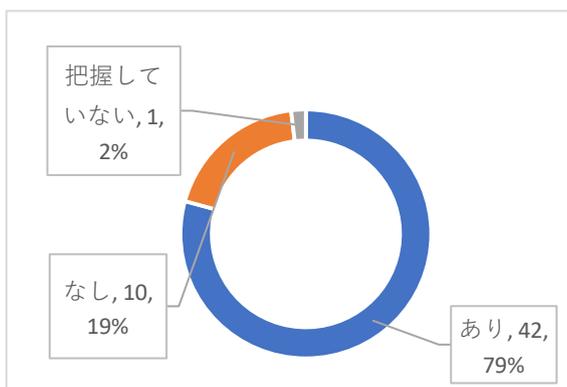
1.施設の分類



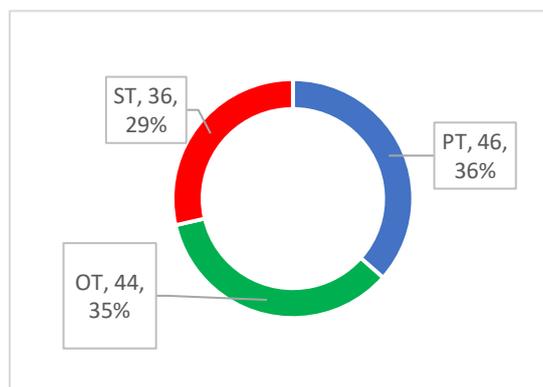
2.施設の領域(複数回答可)



3.過去5年間に本学卒業生の採用実績

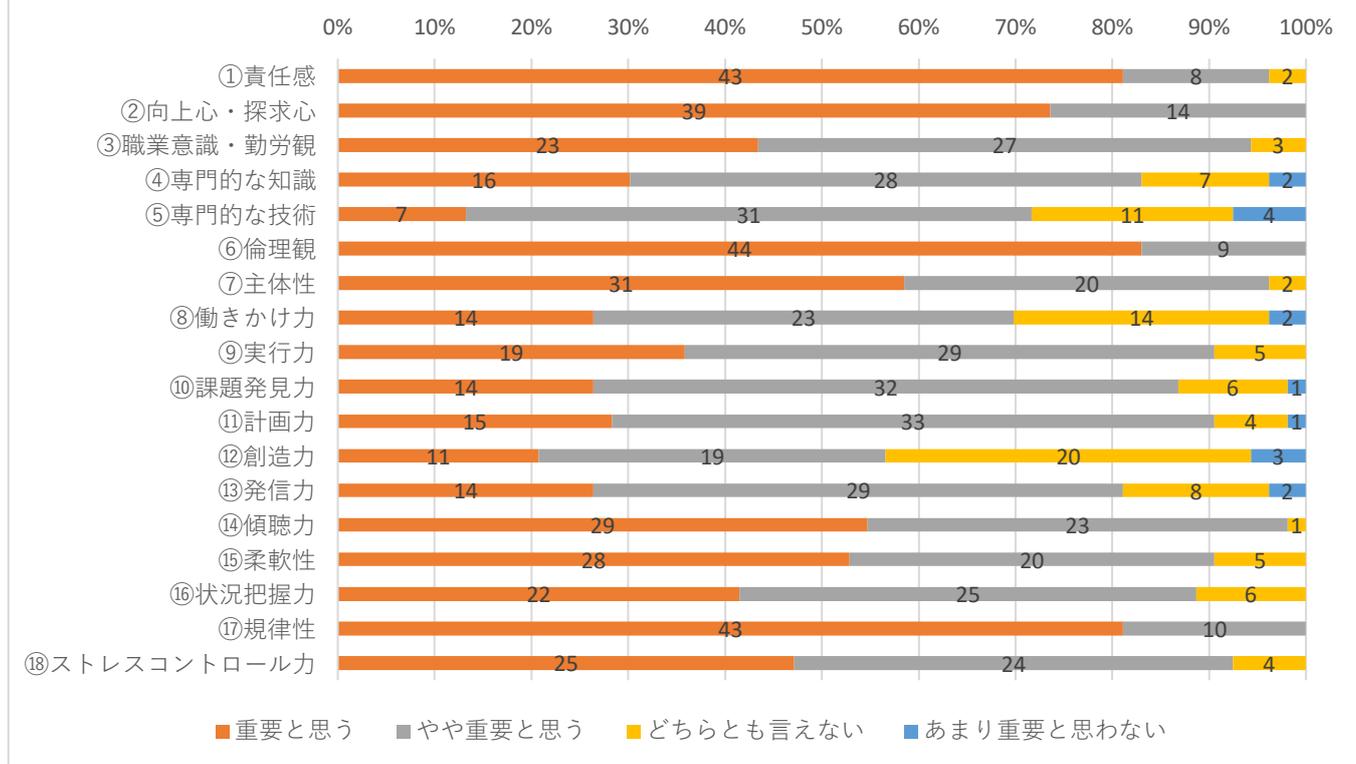


4.本学卒業生の求人区分(複数回答可)



5.採用活動を行う際、仕事を進めるうえでどのような知識・能力が必要か

		重要と思う	やや重要と思う	どちらとも言えない	あまり重要と思わない	重要と思わない
①責任感	社会の一員として役割の自覚を持っている	43	8	2	0	0
②向上心・探求心	働くことに関心や意欲を持ちながら進んで課題を見つけ、レベルUPを目指すことができる	39	14	0	0	0
③職業意識・勤労観	職業や勤労に対する広範な見方・考え方をもち、意欲や態度等で示すことができる	23	27	3	0	0
④専門的な知識	リハビリテーション領域における基本的な学力	16	28	7	2	0
⑤専門的な技術	リハビリテーション領域における基本的な技術	7	31	11	4	0
⑥倫理観	専門職として守るべき善悪や是非の判断	44	9	0	0	0
⑦主体性	物事に進んで取り組む力	31	20	2	0	0
⑧働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力	14	23	14	2	0
⑨実行力	目標を設定し確実に行動する力	19	29	5	0	0
⑩課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力	14	32	6	1	0
⑪計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	15	33	4	1	0
⑫創造力	新しい価値を生み出す力	11	19	20	3	0
⑬発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	14	29	8	2	0
⑭傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力	29	23	1	0	0
⑮柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力	28	20	5	0	0
⑯状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	22	25	6	0	0
⑰規律性	社会のルールや人との約束を守る力	43	10	0	0	0
⑱ストレスコントロール力	ストレスの発症源に対応する力	25	24	4	0	0



6.意見・感想・要望(自由記載)

- ・全ての項目が重要かと思いますが人として動けることが1番大事かと思えます。
- ・この度は就職説明会に参加させていただきありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。
- ・就職を目指す学生さんには、採用試験時点よりも就職後にどう学んで行くかが大切だと思うので、意欲、柔軟性、話を聞く姿勢が大切だと思っております。また、初めての経験が多くなりますので、そのストレスに対してコントロールする力も重要だと考えております。当法人としても教育体制を整え、時にはアップデートしながら新入職の方々を受け入れて参ります。
- ・セラピストの働き方も多様化(施設内での訓練業務・訪問リハでの訓練業務・外部との連絡調整業務・内部調整業務・管理業務など)してきていますので、仕事をする上での得意分野・不得意分野を把握し、最も力を発揮できるよう適材適所を考えています。ですので、以前のように全ての業務を出来るようになってもらわないと困るという観点での採用は行なってはいない状況です。
- ・それぞれ重要と思ひ、区分を付けるのが難しかった。学生の時要求することとは質が違うと思うためである。例えば探求心は症例報告を書くためのものではないし、担当した症例に関することにとどまらない吸引や移乗やトイレ介助の技術、基礎疾患についての広い知識欲が必要であるし、職員同士の協調性のような学生のころとは違った項目も大切と思われる。「重要と思わない」とは断じにくいですが、1年目の人にとっては優先的ではないと思う項目もあった。